

**電磁気学 演習第 14 回 — エネルギーと運動量の保存則**
**問題 14.1 : マクスウェルの応力 (静電場)**

二つの互いに重ならない微小体積  $V_1, V_2$  を考え、それぞれその内部にのみ分布する電荷  $\rho_1(\mathbf{x}), \rho_2(\mathbf{x})$  があるとする。さらにそれぞれの電荷が作る電場を  $\mathbf{E}_1(\mathbf{x}), \mathbf{E}_2(\mathbf{x})$  とする。それぞれの電荷に働く力は次のように書ける。

$$\mathbf{F}_1^e = \int \rho_1(\mathbf{x}) \mathbf{E}_2(\mathbf{x}) dV, \quad \mathbf{F}_2^e = \int \rho_2(\mathbf{x}) \mathbf{E}_1(\mathbf{x}) dV \quad (14.1)$$

(1) 電荷  $\rho_i$  が、自身の作る電場  $\mathbf{E}_i$  から受ける力が零であることを示せ。

$$\mathbf{F}_i^{e,(\text{self})} = \int \rho_i(\mathbf{x}) \mathbf{E}_i(\mathbf{x}) dV = 0 \quad (14.2)$$

(2) 前小問の結果から、全電荷を  $\rho = \rho_1 + \rho_2$ , 全電場を  $\mathbf{E} = \mathbf{E}_1 + \mathbf{E}_2$  として、任意の領域に働く力を  $\mathbf{F}^e = \int \rho(\mathbf{x}) \mathbf{E}(\mathbf{x}) dV$  と定義できる。この力の  $x$  成分が次の面積分で与えられることを示せ。

$$F_x^e = \int \mathbf{t}_x^e \cdot d\mathbf{S} = \int (t_{xx}^e, t_{xy}^e, t_{xz}^e) \cdot d\mathbf{S}, \quad t_{x\nu}^e = \epsilon_0 E_x E_\nu - \delta_{x\nu} \frac{\epsilon_0}{2} E^2 \quad (14.3)$$

(3) 同様に、面積分が  $F_y^e, F_z^e$  を与えるような  $\mathbf{t}_y^e$  と  $\mathbf{t}_z^e$  を定義し、空間に働く力を次のように書く。

$$\mathbf{F}^e = \int \mathbf{T}^e \cdot d\mathbf{S}, \quad \mathbf{T}^e = \begin{pmatrix} \mathbf{t}_x^e \\ \mathbf{t}_y^e \\ \mathbf{t}_z^e \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} t_{xx}^e & t_{xy}^e & t_{xz}^e \\ t_{yx}^e & t_{yy}^e & t_{yz}^e \\ t_{zx}^e & t_{zy}^e & t_{zz}^e \end{pmatrix} \quad (14.4)$$

ここで、 $\mathbf{T}^e$  は次の二階のテンソル量である。 $\mathbf{T}^e$  の各成分を求めよ。

**問題 14.2 : マクスウェルの応力 (静磁場)**

前問題と同様に、二つの互いに重ならない微小体積  $V_1, V_2$  の内部に局在する定常環電流  $\mathbf{j}_1(\mathbf{x}), \mathbf{j}_2(\mathbf{x})$  が存在するとし、それらが作る磁場を  $\mathbf{B}_1(\mathbf{x}), \mathbf{B}_2(\mathbf{x})$  とする。

(1) 環電流  $\mathbf{j}_i$  が自身の作る磁場  $\mathbf{B}_i$  から受ける力が零であることを示せ。

$$\mathbf{F}_i^{m,(\text{self})} = \int \mathbf{j}_i(\mathbf{x}) \times \mathbf{B}_i(\mathbf{x}) d^3x = 0 \quad (14.5)$$

(裏に続く)

(2) 前小問の結果から, 全電流を  $\mathbf{j} = \mathbf{j}_1 + \mathbf{j}_2$ , 全磁場を  $\mathbf{B} = \mathbf{B}_1 + \mathbf{B}_2$  として, 任意の領域に働く力を  $\mathbf{F}^m = \int \mathbf{j}(\mathbf{x}) \times \mathbf{B}(\mathbf{x}) dV$  と定義できる. この力が, 応力テンソル  $\mathbf{T}^m$  の面積分で与えられることを示し, テンソルの各成分を求めよ.

$$\mathbf{F}^m = \int \mathbf{T}^m \cdot d\mathbf{S}, \quad \mathbf{T}^m = \begin{pmatrix} t_{xx}^m & t_{xy}^m & t_{xz}^m \\ t_{yx}^m & t_{yy}^m & t_{yz}^m \\ t_{zx}^m & t_{zy}^m & t_{zz}^m \end{pmatrix} \quad (14.6)$$

ここで,  $\mathbf{T}^e$  は次の二階のテンソル量である.  $\mathbf{T}^e$  の各成分を求めよ.

(3) 静電磁場の場合から一般化して, 電磁場  $\mathbf{E}(\mathbf{x}, t)$  と  $\mathbf{B}(\mathbf{x}, t)$  が存在する任意の領域  $V$  に働くマクスウェルの応力テンソル  $\mathbf{T}(\mathbf{x}, t)$  を次のように定義する.

$$T_{ij}(\mathbf{x}, t) = \epsilon_0 \left[ E_i(\mathbf{x}, t) E_j(\mathbf{x}, t) - \frac{1}{2} \delta_{ij} E^2(\mathbf{x}, t) \right] + \frac{1}{\mu_0} \left[ B_i(\mathbf{x}, t) B_j(\mathbf{x}, t) - \frac{1}{2} \delta_{ij} B^2(\mathbf{x}, t) \right] \quad (14.7)$$

このとき, 次の等式が成り立つことを示せ.

$$\operatorname{div} \mathbf{T} \equiv \sum_{i,j} \frac{\partial T_{ij}}{\partial x_i} \mathbf{e}_j = \epsilon_0 \left[ \mathbf{E}(\nabla \cdot \mathbf{E}) - \mathbf{E} \times (\nabla \times \mathbf{E}) \right] - \frac{1}{\mu_0} \mathbf{B} \times (\nabla \times \mathbf{B}) \quad (14.8)$$

### 問題 14.3 : 電磁場のエネルギーと運動量

静電場のエネルギーから拡張して, 電磁場のエネルギー密度を次のように定義する.

$$\omega_{\text{em}}(\mathbf{x}, t) = \frac{\epsilon_0}{2} E(\mathbf{x}, t)^2 + \frac{1}{2\mu_0} B(\mathbf{x}, t)^2 \quad (14.9)$$

(1) ベクトル解析の公式とマクスウェル方程式から, 次の等式が成り立つことを示せ.

$$-\frac{\partial}{\partial t} \omega_{\text{em}}(\mathbf{x}, t) = \nabla \cdot \mathbf{S}(\mathbf{x}, t) + \mathbf{E}(\mathbf{x}, t) \cdot \mathbf{j}(\mathbf{x}, t) \quad (14.10)$$

ただし,  $\mathbf{S} = \frac{1}{\mu_0} (\mathbf{E} \times \mathbf{B})$  はポインティングのベクトル (Poynting's vector) である.

(2) 式 (14.10) の両辺を任意の体積領域  $V$  で積分したときにエネルギー保存則が成り立つことを考察せよ.

(3) 電磁場のマクスウェルの応力テンソルを次のように定義する ( $i, j = x, y, z$ ).

$$T_{ij} = \epsilon_0 \left[ E_i(\mathbf{x}, t) E_j(\mathbf{x}, t) - \frac{1}{2} \delta_{ij} E^2(\mathbf{x}, t) \right] + \frac{1}{\mu_0} \left[ B_i(\mathbf{x}, t) B_j(\mathbf{x}, t) - \frac{1}{2} \delta_{ij} B^2(\mathbf{x}, t) \right] \quad (14.11)$$

問題 13.3 で考えた点電荷と電磁場の系で, 運動量保存が次のように成り立つことを示せ.

$$\frac{d}{dt} \left( (m\mathbf{v}_1 + m\mathbf{v}_2) + \epsilon_0 \mu_0 \int_V \mathbf{S}(\mathbf{x}, t) dV \right) = \oint_{\partial V} \mathbf{T}(\mathbf{x}, t) \cdot d\mathbf{S} \quad (14.12)$$

以上